

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

事業所名 児童発達支援ひだまり 保護者等数(児童数) 51 回収数 47 割合 92 %

	チェック項目	はい				ご意見				ご意見を踏まえた対応			
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	45	2	0	0	・子ども同士ぶつかっていることがある	・来年度から母子同室での集団療育ではスペースの確保がしにくいので、集団の人数を減らしたり、母子分離にしたりすることで1人1人のスペースを十分に確保できるように変更することにしました						
	2 職員の配置数や専門性は適切である	44	1	0	2	・いつも適切なアドバイスをもらっている ・充分すぎるくらい、ありがたい。	・法令で必要とされる人員配置基準を満たした職員数の配置をしており ・より専門性を高められるよう、多方面の勉強会等に参加したり事業所内でのビデオ分析等勉強会を開催したいと思っております						
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	43	0	0	4	・うちの子については問題はなく適切だと思うが、他の子にとってはどうかかわからない	・子どもたちにわかりやすい環境になるようにシンプルな構造にしており、利用者の状況に応じ、適切な環境整備をするよう心掛けています						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	46	1	0	0	・よく配慮されていると思う ・空間は明るくとてもきれいで空調の心地よいもしてもらっている ・活動以外のものが目に入ると、それに気をとられることがある	・注意が散りやすい子に対しては、玩具等が多く置いてある広い部屋ではなく、少し狭くて落ち着きやすい部屋で活動を行ったり、部屋の玩具自体を片づけたり、集中しやすい環境づくりを行うようにします						
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	46	0	0	1	・要望をよく取り取って計画してくれている ・毎月行われる内容、目的など書いた用紙をもらえるのでわかりやすい	・モニタリングやアセスメントを行い、ニーズや課題の分析をした上で全体会議を行い、児童発達支援計画を作成しています						
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	43	0	0	4	・親としては何をしてくれる必要があるのか分からず、言語聴覚士が色々やって沢山声掛けをしてもらっていると信じるしかない	・療育内容の具体的な目的、子どもの現在の評価や今後の発達の見通しについて説明し、家でのような目的でどのようなかわりをしていただくことが今必要かということも、保護者様のご要望や気持ちをお聞きしながらお伝えする時間を作るようにしていきます ・定期的な相談以外にも児童発達支援管理責任者が保護者様とお話する時間を設け、疑問をすぐに解消できるようにしていきます						
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	46	1	0	0	・その日の課題内容にもよる ・集団でも個別でも子どもにあった声かけをしてかわってもらえていると思う	・担当職員以外にも複数の職員が子どもにかかわり、計画書の内容や療育内容が適当なものかどうかの検証を行う機会を増やします						
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	42	1	0	4	・柔軟に対応してくれている ・子どもは遊び等の内容をとても楽しんでいる ・いろいろなプログラムを用意してくれ、子どもの希望にも柔軟に対応してくれる	・活動プログラムが固定化していないか、目的や内容が子どもにあっているか、定期的な会議以外にもモニタリングや記録の確認を行います。また、新しいプログラムを取り入れていけるように、内部外部での研修や勉強会に参加します						
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10	3	10	24	・個別対応で通っているのではない ・個人で保育園にしている	・来所されている方の多くが保育園や幼稚園に通われているため、敢えて事業所の取り組みとして機械を設けたりはできていません。今後ご要望があれば考えていきたいと思います						
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	45	1	0	1	・利用明細などが特にない	・今まで詳細な利用明細か簡易な明細かを最初に保護者様に選んでいただいてお渡ししていましたが、アンケート回収後から一律詳細な利用明細をお渡しすることになっています						
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	44	1	0	2	・ガイドラインの内容を知らない	・ガイドラインを示すことはしていませんが、ガイドラインに基づいて作成した児童発達支援計画書の支援内容は保護者様に説明をし、同意を得ております。						
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	23	6	3	15	・ペアトレとしての時間を別に組んではないが、家庭での支援等のアドバイスについては常にもらっている ・相談はさせてもらっている	・家庭で取り組みやすい方法や、かわりについては個別の面談や療育時に保護者様と一緒に考えお伝えしています ・今後は保護者向け学習会等の開催を検討していきます						
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	45	1	0	1	・共通理解はできているように思う、日ごろから伝えられているかは疑問	・保護者様とのやりとりが不十分なケースがあったため、担当職員が保護者様とお話する時間を設けること、児童発達支援管理責任者が実績記録票の記入時等にお話する機会を増やすことを中心にやりとりする職員や時間を増やします						
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	46	1	0	0	・不安に感じた時等は話を聞いてくれるので考え方が変わって気持ちがプラスになる ・時々はあるが定期的ではないように思う	・定期面談以外にも保護者様とお話する機会を設け、職員間での連絡を密にし、必要に応じてすぐに助言や相談等ができるようにしていきます						
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	8	12	22	・保護者間での情報交換できる場はある ・交流会等あれば嬉しい ・保護者会というのではないが、親子通所なのでそれが交流となっている	・今後、勉強会、茶話会や卒後相談、卒後の方に就学の体験談等を聞かせていただく機会等保護者交流ができる場を作りたいと考えています。						
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	46	1	0	0	・毎回必ず先生に相談をする時間が設けられているわけではないので、こちらの都合で話しているのか気になる ・いつでも相談させてもらえる体制であると思う	・療育の前後の時間に、最近の様子や困っていること等がないかな等毎回確認したり、必要があればすぐに相談の時間を設けられるように職員の配置をしたりしていきます						
17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされている	46	1	0	0	・あまり話をする時間の余裕がないように思う	・子どもにも保護者様にも、複数の職員がかかわるようにし、気になることや不満等気兼ねなくお伝えいただけるように配慮していきます							

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	19	3	1	24		・スタッフブログやホームページに、活動内容やお休みの予定等の情報を載せてはいますが、その存在を知らない方もいらっしゃるかと思います。今後はお知らせし、定期的に発信していきたいと思えます
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	44	0	0	3		・個人が特定できる名前などが記載してあるものの取り扱いには十分注意していきます
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	17	5	2	23		・今年度の台風や地震の災害を受け、非常災害マニュアルを改定しているところです。今後、保護者の方にもわかりやすいように刑事をする等工夫をしていきます
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	6	7	3	31		・職員内での非常災害発生時の経路確保、誘導をどのように行うか等の研修や、地域の避難訓練への参加は行っていますが、子どもたちと一緒に避難訓練は年に1度のペースでしか行っておりません。今後は定期的に行うようにします
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	45	2	0	0	・通所を渋ることがあるが、活動を始めるとそれなりに楽しめるようになってきた ・話せないが笑顔が見られ、色々できることが増えている ・毎回母子共に楽しみにしている	・どのような要因で通所に拒否感があるときがあるのか、保護者様に聴き取りをし、子どもが楽しく通えるように活動をわかりやすくしたり、内容を検討したりします
	23 事業所の支援に満足している	47	0	0	0	・大変満足している ・している ・大満足	・今後も満足していただけるよう、

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。